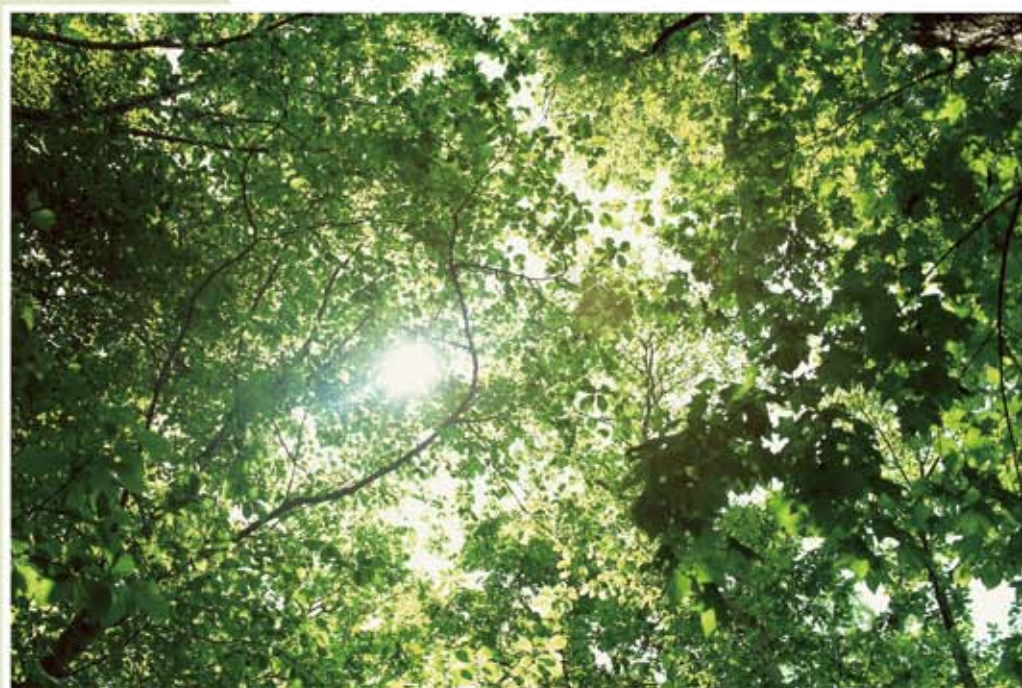




中温化アスファルトバインダ

NEOシリーズ



NEOシリーズとは

NEOシリーズは、アスファルト混合物の製造および施工時の温度を、従来の各アスファルトバインダ製品より約30℃低減できます。これにより、アスファルト混合物製造時における二酸化炭素排出量を削減でき、地球環境の保全に貢献します。

特 徴

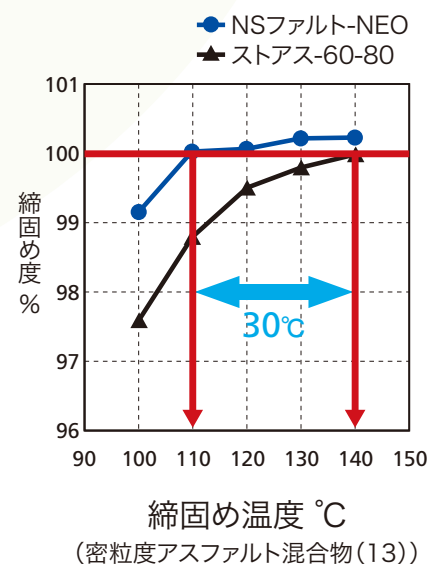
- ① 混合物製造時の温度を約30℃低減することで、CO₂排出量を削減できます。
- ② 従来の同規格製品の性状規格に適合します。
- ③ 従来の同規格製品と同等のアスファルト混合物性状が得られます。
- ④ 寒冷期の施工性を改善できます。
- ⑤ 温度低下が起こりやすい薄層舗装や橋面舗装の施工性を改善できます。

製 品 一 覧

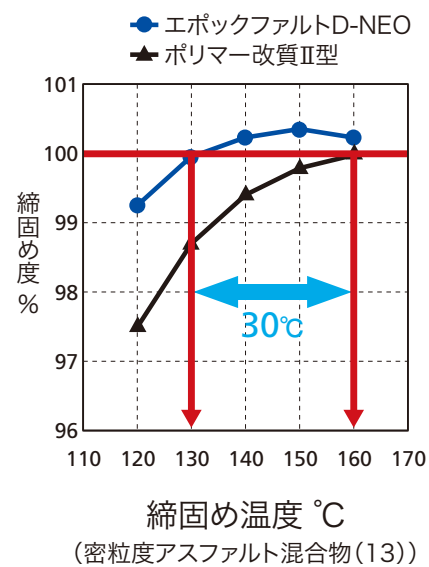
製品名	分類名	主な用途
NSファルト-NEO	ストレートアスファルト60-80規格対応	一般舗装
エポックファルトD-NEO	ポリマー改質アスファルトII型規格対応	重交通路線、空港舗装、橋面舗装
セナファルト-NEO	ポリマー改質アスファルトH型規格対応	ポーラスアスファルト舗装用

NEOの締固め特性

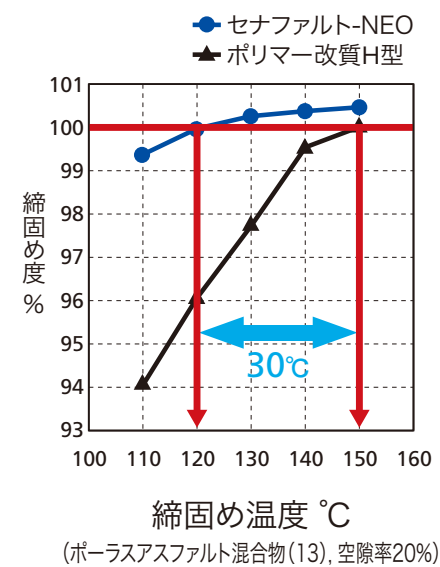
NSファルト-NEO



エポックファルトD-NEO



セナファルト-NEO

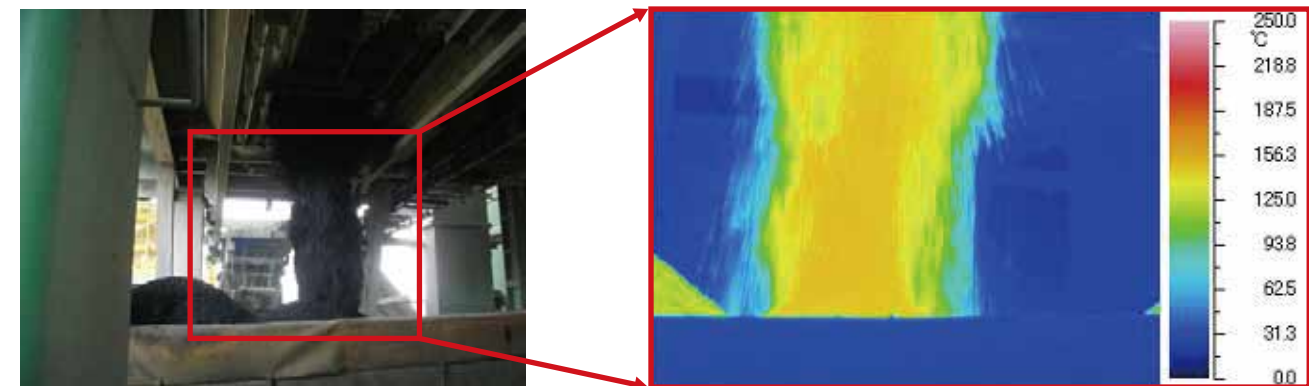


*上記グラフは、室内マーシャル試験結果の一例です。

推奨管理温度

項目	NSファルト-NEO	エポックファルトD-NEO	セナファルト-NEO
混合温度 °C	120~160	135~185	135~175
敷均し温度 °C	110以上	120以上	120以上
初期転圧温度 °C	100以上	110以上	110以上
二次転圧温度 °C	70以上	90以上	60~90

練り落とし温度の分布



練り落とし時の写真

左写真の熱画像

写真と熱画像は、アスファルト混合所で実際にエポックファルトD-NEOを使用したアスファルト混合物を練り落とした時に、赤外線サーモグラフィで測定した実例です。通常のパリマー改質アスファルト使用時の練り落とし温度(当社製品例:165~185℃)より、温度が低いことがわかります。

取扱注意事項

- 本製品による二酸化炭素排出量の削減効果は、実際にアスファルト混合所で骨材の加熱時に使用する燃料を削減した場合に得られる効果です。
- 製品の技術的な詳細に関しましては、技術資料をご参照ください。
- 安全に係る詳細な情報は、MSDS「製品安全データシート」をご参照ください。